

令和7年度志木地区衛生組合歳入歳出予算概要

1. 予算規模

令和7年度予算の歳入歳出総額は、38億6,811万1千円となり、前年度比3億5,824万9千円の増、率にして10.2%の増となっています。

前年度と比べ増額となった主な要因は、修繕費について、富士見環境センター焼却施設の通常のオーバーホールに加え、基幹的設備改良工事の工事範囲外の機器の更新や新座環境センター西工場の延命化修繕やその他の施設の懸案設備の修繕による増（前年度比2億6,222万4千円の増）や運転管理業務委託料については、人件費の上昇や富士見環境センター焼却施設の運転日数の増加に伴う薬品使用量増加による増（前年度比1億3千円の増）などによるものです。

2. ごみの搬入量見込みと処理経費

令和7年度のごみの総搬入量は83,520トンと見込み、前年度比200トンの増、率にして0.2%の増と見込んでいます。

うち、家庭系ごみについては、物価高騰による食料品等の消費の影響が収まりつつあることを踏まえ、66,490トンと見込み、前年度比200トンの増、率にして0.3%の増と見込み、事業系ごみについては、社会経済の状況が落ち着いていることを踏まえ、前年度と同量の17,030トンと見込んでいます。

また、1トン当たりの処理経費については、予算総額の増加に伴い、前年度比4,144円増の46,224円を見込んでいます。

3. 歳入予算の主な特徴

(1) 分担金及び負担金

「構成市負担金」は、予算総額の増加に伴い、前年度比2億2,842万4千円増の28億6,867万4千円を見込んでいます。

(単位：千円)

	令和7年度	令和6年度	前年度差	前年度比(%)
志木市	668,334	619,652	48,682	7.9
新座市	1,281,809	1,183,939	97,870	8.3
富士見市	918,531	836,659	81,872	9.8
合計	2,868,674	2,640,250	228,424	8.7

(2) 使用料及び手数料

「一般廃棄物処理手数料」は、事業系可燃ごみ及び家庭系粗大ごみの搬入量を前年度と同量と見込んでいますが、その他のごみを微減と見込んでいることから、前年度比14万円減の3億8,730万4千円を見込んでいます。

(3) 繰入金

「財政調整基金繰入金」は、令和7年度以降、労務単価の上昇による委託料や修繕費などの支出の増加が見込まれることから、構成市負担金の平準化を図るため、財政調整基金を約6億円留保し、残りの5億165万円を繰入れ構成市の負担軽減を図ります。

※令和6年度末時点での財政調整基金残高見込 11億35万3千円

※令和7年度末時点での財政調整基金残高見込 6億35万4千円

(4) 諸収入

「有価物売却代金」は、金属類、スチール・アルミ缶及びペットボトル等の売却実績や市況を踏まえ、前年度比743万9千円増の7,511万3千円を見込んでいます。

(単位：円)

区分	令和7年度予算額	令和6年度予算額	前年度比
金属類	20,750,000	20,250,000	500,000
スチール・アルミ缶	32,000,000	27,900,000	4,100,000
ビン類	307,780	325,600	△17,820
紙類	187,000	170,500	16,500
ペットボトル	21,000,000	18,200,000	2,800,000
自転車	171,820	256,080	△84,260
ふとん類	196,900	72,600	124,300
不燃性有価物	500,000	500,000	0
合計	75,113,500	67,674,780	7,438,720

4. 歳出予算の主な特徴

【(款)3 衛生費・(項)1 清掃費・(目)1 清掃総務費】

(1) 職員給与費〔報酬・給料・職員手当等〕

令和7年度は、常任副管理者が事務局長を兼務する年度となることから、職員給与費は、前年度比736万円減の7,327万9千円を見込んでいます。

(2) 委託料〔職員採用試験委託料〕

令和7年度末で退職予定の者がいるため、令和8年4月1日付け採用の採用試験を実施します。

【(款)3 衛生費・(項)1 清掃費・(目)2 塵芥処理費】

(3) 光熱水費〔需用費〕

光熱水費のうち、電気料金は、燃料費等調整単価が下落していること、基幹的設備改良工事により、高効率な機器に更新したことにより、富士見環境センターの電力消費量が減少したことなどを踏まえ、前年度比3, 201万6千円減の3億2, 991万6千円を見込み、上下水道料金は、使用実績から前年度比198万円減の3, 297万6千円を見込んでいます。

(単位：千円)

施設名	内訳	令和7年度予算額	令和6年度予算額	前年度比
富士見環境センター	電気料金	166,848	195,204	△28,356
	水道料金	13,812	14,760	△948
	下水道料金	2,748	2,964	△216
新座環境センター	電気料金	163,068	166,728	△3,660
	水道料金	16,416	17,232	△816
合計		362,892	396,888	△33,996

※新座環境センターは下水道に接続していません。

(4) 修繕費〔需用費〕

施設の安定稼働と延命化を図るため、富士見環境センター焼却施設、粗大ごみ・ビン処理施設、プラスチック分別処理施設、新座環境センター東・西工場の5施設及び、施設共通管理について、定期オーバーホールなど施設の修繕経費や富士見環境センター焼却施設の基幹的設備改良工事では工事対象範囲外の機器の更新や新座環境センター西工場の延命化修繕として、前年度比2億6, 222万4千円増の12億7, 217万3千円を計上しています。

主な修繕項目としては、富士見環境センター焼却施設では、1号炉焼却灰搬送コンベヤ更新、1号炉No.1減温塔ダストコンベヤの更新等、新座環境センター東工場では、圧縮用ガイド・スライド板交換、バグフィルタろ布交換等、西工場では、自動燃焼・データ処理装置交換(債務負担行為)、ガス冷却室下コンベヤ更新、蒸気タービンガバナー更新等の延命化修繕などを予定しています。

なお、修繕の執行にあたっては、公共工事設計労務単価や(公社)全国都市清掃会議の積算要領などを使用することで、金額の適正化と透明化を図ってまいります。

(単位：千円)

施設名	予算額	主な修繕内容と金額（諸経費及び消費税別）
富士見環境センター 焼却施設	299,310	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1号炉焼却灰搬送コンベヤ更新 50,000 ・ 1号炉No.1減温塔ダストコンベヤ更新 30,000 ・ 灰クレーンバケット更新 15,000 ・ 1号炉振動コンベヤ更新 10,000
粗大ごみ・ビン処理 施設	76,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低速破砕機供給コンベヤエプロンパン等交換 13,500 ・ 高速破砕機コーンライナ交換 11,700
プラスチック分別 処理施設	68,365	<ul style="list-style-type: none"> ・ フィルム類圧縮梱包機底板ライナー取替（1系分） 8,000 ・ シュート・ホッパー腐食部補修 6,000
新座環境センター 施設共通管理	550	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォークリフト点検整備 500
新座環境センター 東工場	317,625	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圧縮用ガイド・スライド板、各シリンダー交換、油圧ユニット整備 58,000 ・ バグフィルタろ布交換、制御盤P L C交換 25,500 ・ ごみ投入扉定期点検、消耗部品交換、動力作動部軸交換 20,000 ・ 活性炭定量供給装置更新 15,000 ・ 灰押出装置、各種コンベヤ、混練機等整備 12,000
新座環境センター 西工場	510,323	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動燃焼・データ処理装置交換（債務負担行為） 95,000 ・ ガス冷却室下コンベヤ更新 40,000 ・ 蒸気タービンガバナナー、クラッチ等更新 26,000 ・ 炉内耐火物補修 22,000 ・ ボイラ薬剤注入ポンプ交換 22,000 ・ ボイラ灰搬出コンベヤ二重フラップダンパ交換 20,400 ・ 工業計器部品交換 16,000

(5) 運転管理業務委託料〔委託料〕

施設の適切な運転や維持管理のため、富士見環境センター焼却施設、粗大ごみ・ビン処理施設、プラスチック分別処理施設、新座環境センター東・西工場の5施設について、運転管理業務委託料として、前年度比1億3千円増の11億6,587万8千円を計上しています。

増額要因としては、(公社)全国都市清掃会議の積算要領に基づく労務単価の上昇及び富士見環境センター焼却施設の運転日数の増加に伴い、使用する薬剤の使用量の増加によるものです。

(単位：千円)

施設名	令和7年度予算額	令和6年度予算額	前年度比
富士見環境センター焼却施設	335,808	286,044	49,764
新座環境センター東工場	222,500	209,894	12,606
新座環境センター西工場	223,384	211,860	11,524
粗大ごみ・ビン処理施設	203,280	192,034	11,246
プラスチック分別処理施設	180,906	166,043	14,863
合計	1,165,878	1,065,875	100,003

(6) 廃棄物処理業務委託料〔委託料〕

焼却灰等の最終処分経費として、前年度比1,647万8千円減の3億5,275万3千円を計上しています。

減額の要因としては、人件費及び燃料価格の上昇により処理単価は値上がりしているものの、廃棄物処理量が減少していることから、廃棄物処理量を前年度と比べ555トン減と見込んだことによるものです。

焼却灰等の主な搬出先は、青森県、秋田県、山形県、宮城県、栃木県、埼玉県等です。

また、当組合では、最終処分場を保有しないことや循環型社会を形成するため、焼却灰等の再資源化割合を令和7年度は予算上65%としています。

(単位：千円)

施設名	令和7年度予算額	令和6年度予算額	前年度比
富士見環境センター焼却施設	137,588	136,994	594
粗大ごみ・ビン処理施設	28,451	29,023	△572
新座環境センター東工場	88,605	98,604	△9,999
新座環境センター西工場	98,109	104,610	△6,501
合計	352,753	369,231	△16,478

(7) 工事請負費

富士見環境センター止水板設置工事 584万3千円

焼却施設西側の開口部9箇所を設置

【(款)4 公債費・(項)1 公債費・(目)1 元金】

(8) 公債費〔償還金、利子及び割引料〕

基幹的設備改良事業債の令和4年度埼玉県ふるさと創造貸付金の元金償還開始に伴い、前年度比3,874万7千円増の4億5,630万7千円を計上しています。

5. 行財政改革等の取組み

(1) 富士見環境センター止水板設置工事

富士見環境センター止水板設置工事 584万3千円

富士見環境センターは、平成28年及び令和元年に水害があり、施設の復旧まで、ごみの搬入を停止したこともあることから、令和5年度から被害の大きかった箇所を優先に止水板設置工事を実施しております。構成市の財政負担を平準化するため、順次、富士見環境センターに止水板設置工事を行い、施設の安定稼働に努めてまいります。令和7年度については、主に焼却施設の西側に設置いたします。

(2) これまでの取組み

①飲料用自動販売機設置に係る貸付 88万7千円

②再生家具の販売 96万円

③ホームページバナー広告掲載料 30万円

④不燃性有価物の売却 50万円